

令和2年2月25日

保護者アンケートのご意見・ご要望及び今後に向けて

なかいず認定こども園

アンケートへの回答ありがとうございました。皆様のご協力に感謝いたします。

ほとんどの項目に対して昨年と変わらぬ高い評価をいただきました。この結果からも園児がこども園の環境に慣れ、落ち着いて生活できていることを確信しました。園の重点目標「元気に仲良く遊べる子 あいさつのできる子 思いやりのある子 自己表現のできる子」の具現化を職員間で意識して取り組んできた結果だと思えます。

今後も保護者の皆様からいただいたアンケート(運動会・発表会も含め)を参考に改善に努めると共に、園の保育・教育方針や内容をご理解いただけるようにお伝えする方法も考えていきたいと思えます。

①新型コロナウイルス感染症予防に関するご意見について

園全体の集計では、新型コロナウイルス感染症予防に配慮した園行事の実施に対する皆様のご意見は、A73.9%、B24.3%で合わせて、98.2%と大変多くの皆様から、肯定的なご意見をいただきました。ご意見欄にも、「コロナ禍の大変なときに工夫して行事等行ってくださりありがたかった」などのお褒めの言葉もいただきました。しかしながら、

◇職員がマスクを外している姿を何度か見えています。…大人から子供への感染も容易に考えられます。再度確認していただけると…

◇マスクがポケットの中やカバンの中にあたり行方がわからないことがあるので出来るだけマスク装着をうながしてほしい

◇放課後の園庭開放ですが、コロナ感染が広がって来た時は開門しないで欲しい

◇今の時期(男の子も)立ちションではなく座っておしっこをさせて欲しいです。はみ出しちゃったおしっこを次の子が踏んでしまったり服についてしまったり…感染が怖いです

等の、さらに慎重に感染予防に取り組んでほしいというご意見もいただきました。

職員の健康チェックにつきましては、朝夕2回の体温の記録と、咳の有無など15項目のチェックを毎日実施するとともに、職員家族の健康状況の報告も確認しております。また、マスクにつきましては、通勤時に使用するマスクと園内業務で着用するマスクをわけて、園内で使用するマスクにつきましては捕集効率BFE99%・PFE99%以上の不織布マスクを着用するように義務づけております。勤務時間中、特に園児の前で不用意にマスクを外すことのないよう、これからも職員の意識を高めて取り組んでいきたいと思えます。

また、園児のマスク着用につきましても、幼児組については、着用の働きかけを丁寧に行います。乳児組につきましては、個人差や月齢差なども考慮しながら安全な着用方法について検討していきます。

さらに放課後の園庭開放につきましては、楽しみにしている園児もいますので、今後の感染の広がりなどを考慮しながら検討していきます。男子用トイレの利用につきましては、個別に対応させていただきたいと考えています。また、毎日の掃除と除菌作業も引き続き徹底していきます。

②降園後の園庭開放で、滑り台での逆走や、小学生と思う子の鬼ごっこが怖い お兄さん達の真似をしたがったりするので、良いお手本になって欲しいというご意見について

降園後の園庭利用につきましては、原則として保護者の皆様の指導監督の下に安全に配慮しながらの活用をお願いしているところです。滑り台での逆走などは、保育時間でも禁止しますので、「園庭で遊ぶときにはたとえ放課後でも、園庭の使い方を守ろうね」とお子さんに声をかけてくださるとありがたいです。

小学生が園庭で遊ぶ弟や妹を見守ることは可能です。しかし、園児以外が園庭内で遊んだり、遊具を利用したりすることは禁止です。園児が安全に楽しく過ごすために、ご理解ください。

③先生方が写真付きで、連絡ボードに載せてくださっていますが、その写真も園フォトに入れて欲しいというご意見について

連絡ボードの閲覧ありがとうございます。担任は、日常の活動を撮影するときにどの子どもも満遍なく撮影するよう日頃から心がけていますが、子どもたちの性質や動きによってどうしても写り方にばらつきが出てしまいます。園フォトにアップできる写真の枚数が限られていますので、どの子どもも不公平無く購入できるように、事前に担任が写真を選んで枚数を調整しています。いろいろな関係から、お子様のベストショットが園フォト候補から外れてしまうこともあるかもしれません。ご理解ください。

④献立表、クラス便りを玄関に置いて欲しい、先生に声をかけづらいというご意見について

希望者へ紙媒体でお便り等を提供することは園としての通常業務と考えています。是非お気軽に職員へ声をかけてほしいと思います。しかし、職員が他の対応で不在の時などでは、お急ぎの場合に不便であると思いますので、玄関の窓口の下に印刷物を置いておくことができる棚を設置しました。是非ご利用ください。棚にない場合やクラス便りなどについては、どうぞお気軽に職員へ声をかけてください。

⑤先生が、きつめの言葉で園児に上着を着るように促していた、別の言葉選びができたのでは私語が多かったり、ただ立っていたりする保育士がいる

責任者がいるときといないときの職務対応が違う保育士がいる というご意見について

職員（保育士）の言動について、ご不快な思いをもった皆様に対して、心からお詫び申し上げます。申し訳ありませんでした。以後、このようなご指摘がないように研修を深めていく所存です。こども園では、人権を尊重し子どもたちが安心して楽しく過ごすことが出来るよう、今後とも努力していきます。また、自他の命を守るという緊急の場面以外では、園児に対し強い口調での指示や指導を行わないように徹底していきます。

⑥就学前の子どもたちに対して授業にきちんと取り組めるように静かにする時間や待つこと、読み書きの時間などを作ってほしい 学校では急に何時間も勉強に変わり心がついていけない子もいるように感じるというご意見について

いわゆる「小1プロブレム」といわれる、こども園から小学校へ進学したときに頻繁に現れる子どもたちの困り感を少しでも軽減するよう、小学校と連携しながら保育の内容を工夫しています。特に3学期には、小学校の生活を想定し、机や椅子を積極的に使った保育や給食の時間の過ごし方などについて時間をとって多く体験するようにしています。

⑦先生1人に付き、子供の数が多いと思います。2歳児までは、もっと先生を増やしてもらえたらと思いますというご意見について

乳児の保育にたくさんの目や手がほしいのは、保育の現場の切なる願いでもあります。ただ、現実には保育士不足という問題が都会部だけでなく日本全国で発生しています。伊豆市でも、なにかいず認定こども園でも同様です。本園では、法律に定められた職員数は確保しておりますが、職員の職務内容に余裕はありません。資格をお持ちの方は是非本園に勤務をお願いします。短時間勤務という形態で勤務する職員も募集しております。

今後も保護者の皆様と連携し、子どもたちがより安心してより楽しく過ごせるようななにかいず認定こども園にしていきたいと思ひます。

これからもご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。